

# テヘラン 悪ガキ日記

監督:カマル・タブリーズー  
キャスト:ファテメー・モタドホアリア / ホセイン・ソレイマニー / ゴルシード・エガハリ  
ジャムシード・エスマイルハーニー / モハマド・ダヴードナジェド  
1998年 / カラー / 90分 © Farabi Cinema Foundation

1999年ベルリンこども映画祭グランプリ  
1999年カナダこども映画祭グランプリ  
1999年カイロこども映画祭グランプリ  
1999年ソウル国際家族映画祭グランプリ

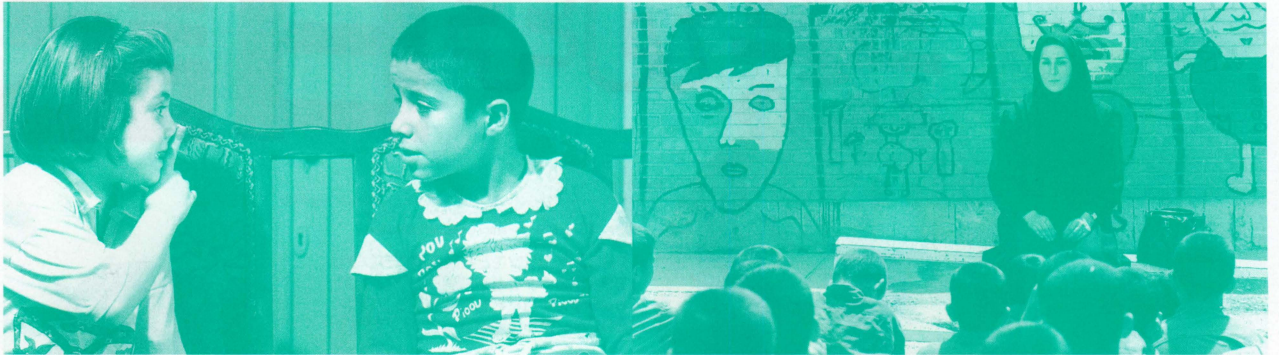


可愛くて、いとおしくて・・・  
世界中の大人たちの心を洗い流したイラン映画の秀作！

少年院を脱走した少年メヘディはひとりぼっち  
ママをさがして、でも、ママはどこに・・・  
悲しみだつて、愛だつて、ボクはもう知ってる！！



『テヘラン悪ガキ日記』はイラン映画が得意とする子どもを主人公にした作品のひとつである。ただし、これまでに評判になったイランの子どもものの多くがそうだったような、貧しさのなかですくすくと育つ良い子たちの物語とは少し違う。この主人公の少年は貧乏は貧乏だがいささか悪ガキのほうなのだ。一見単純な喜劇のようで、大人と子どもものの考え方のズレ違うところをくっきりと見据えているし、そこで子どもはどうしたら大人になる第一歩を踏み出せるのだろうか、という重要な問題が提起されていると思う。



解説

<ベルリン子ども映画祭>の会場である、ウラニアホールの通路までを一杯にした子どもたちは、上映中、決して黙ってはいない。キスシーンには、ビュビュウ口笛が飛び交い、主人公が困ったシーンでは、掛け声が飛ぶ。10歳にも満たない子どもから、15.6歳の少年・少女たちまでが、ひとり、あるいは友だちと、あるいは低学年の場合は、教師や親が引率して、厳冬の2月にベルリン中からウラニアにやってくる。世界各地の子ども映画祭のお手本になっていて、『テヘラン悪ガキ日記』はこの映画祭で少年・少女たちの共感を呼び、1999年、みごとにグランプリを受賞した。

監督のカマル・タブリーズイーはイラン初のラブストーリーを監督するなど、意欲的な創作姿勢で知られる。また、<おおかあさん>役のファテメー・モタメド=アリアは、イラン映画界トップの女優である。主役の少年メヘディ役を演じるホセイン・ソレイマニーは実際に少年院で暮らしていたところを、監督に見いだされ、少年期の幼さと不安とをみごとに演じた。

少年が自分をとりまく現実を知り成長してゆくこの映画は、子どもだけでなく大人たちの感動も呼び、ベルリンを始めカイロ、カナダの子ども映画祭でのグランプリとソウル国際家族映画祭でもグランプリに輝いた。

物語

少年院にいるメヘディは、いまだに母親の死を受け入れられずにいる。新聞の切り抜きの中の女性を、自分の母親だと思い込み、見つめてはため息をつく日々を送っていた。ある日、その少年院に新しいソーシャル・ワーカーの先生がやってきた。母親の愛情で子どもたちに接すれば、きっと厚生させることができると信じている先生は、みんなにやさしく語りかける。メヘディはそんな先生のすっきりとこになってしまった。「母ちゃんは生きていた!」。なんとかして先生の子どもになろうと、メヘディは少年院を脱走し、先生の家に向かう…。



少年院でスカウト?!

主人公メヘディを演じたホセイン君は、なんと実際に少年院にいた少年。監督自らがこの映画の主役を探しに少年院に行き、何人かの少年と話をし、そのなかでも演技が上手いホセイン君が選ばれた。監督がホセイン君の3ヶ月分の保釈金を払って、なんとか撮影にこぎつけたとのこと。現在ホセイン君は奨学金をもらうほど優秀な高校生で、卒業後はオランダの大学に行くことが決まっている。まさにこの映画が彼にチャンスを与えたのだ。ちなみに映画にでてくる少年院は実際のもので、少年たちもほんとに少年院にいる子どもたちである。

監督:カマル・タブリーズイー kamal Tabrizi

1959年、テヘラン生まれ。演劇芸術大学の映画舞台科にて映画を学ぶ。撮影と脚本執筆で映画界に入り、1979年に初めての短編映画を監督。以来、主として若い観客に向けた映画をつくっている。現在、新作の脚本を執筆中。

テヘラン  
悪ガキ日記

1999年ベルリン子ども映画祭グランプリ / 1999年カナダ子ども映画祭グランプリ  
1999年カイロ子ども映画祭グランプリ / 1999年ソウル国際家族映画祭グランプリ

1998/イラン/90分/カラー/35mm/1:1.66  
監督:カマル・タブリーズイー / 脚本:カマル・タブリーズイー&レザ・マズデーディ  
撮影:アズィース・サアデー / 音楽:ケイヴァン・ジャハンシャヒー / 編集:ハッサン・ハッサンドウスト  
キャスト:ファテメー・モタメド=アリア / ホセイン・ソレイマニー / ゴルシード・エグバリ / ジャムシード・エスマイルハニー / モハマド・ダヴードナジェド  
製作:Varahonar Co. & Farabi Cinema Foundation © Farabi Cinema Foundation  
日本語字幕:松岡葉子 / 協力:ショーレ・ゴルバリアン  
配給:パンドラ Tel 03-3555-3987 Fax 03-3555-8709 http://www.pan-dora.co.jp/

6月9日(土)よりモーニングショー(22日(金迄))

連日朝10:30から1日1回上映します(終了12:05)

●前売券¥1400発売中●

劇場窓口、チケットぴあ、ローソンや市内プレイガイドにて  
窓口でお求めの方、先着50名様にポストカードプレゼント有

心斎橋アメリカ村BIG STEP 4F 06  
パラダイスシネマ (6282)  
1460

同時公開(入替制)  
『ブラックボード〜背負う人〜』  
①12:30 ②2:30 ③4:30 ④6:30  
★『テヘラン悪ガキ日記』の半券を  
ご提示の方は一般当日券¥1800を  
¥1500に割引いたします。